

昨年の映画「シン・ゴジラ」により再び脚光を浴びる楽壇の巨人

昨年(2016年)没後10年を迎えた作曲家・伊福部昭は、“ゴジラ”を含む300余の映画音楽を手がけたことで数多のファンに知られている。同時に、純音楽分野における数々の傑作に象徴されるように、伝統的民族意識に基づいた生命力にあふれる一貫した作風は、聴衆の心をとらえてやまない。「管弦楽法」(上・下巻)、「音楽入門」などの名著も遺している。日本の音楽界を担う多くの優れた弟子たちへの伊福部の影響力はまことに大きなものがある。

本演奏会ではその伊福部のさまざまな年代の室内楽作品を採り上げる。演奏される機会の少ない作品も織り込み、逸話も交えながら伊福部昭の幅広い功績を紹介したい。

昨年話題を撒いた「シン・ゴジラ」においても伊福部の音楽は響き、映画に大きな効果を与えた。本日のプログラムの中にも映画で用いられたおなじみの旋律がある。伊福部音楽のファンの方ばかりでなく、初めて伊福部音楽を聴く方にもきっと、お楽しみいただけることだろう。

1914年5月31日、北海道釧路町(現・釧路市)に生まれる。2006年2月8日没。13歳の頃から作曲を独学で勉強。「日本狂詩曲」「交響譚詩」「シンフォニア・タブカーラ」「リトミカ・オスティナータ」など民族的な力強さが特徴の楽曲を多く作曲し、戦後には映画音楽も数多く手がけた(特に東宝特撮・怪獣映画の劇伴音楽が名高い)。また、音楽教育者としても数多くの作曲家を育てた。



PHOTO:小林淳



山田 令子 ピアノ 作曲者から直接教えを受けた伊福部作品演奏の第一人者

東京音楽大学ピアノ科卒業。在学中伊福部昭のゼミに参加し、彼の作品、思想、音楽への姿勢に大きな感銘を受ける。1990年に渡米。シカゴ芸術音楽院ピアノ演奏科で音楽修士号を取得後デュポール大学のピアノ演奏研究科で学ぶ。1992年より1998年までシカゴ・シビック・オーケストラの準首席・首席鍵盤奏者を担う。セント・ザビエル大学、シカゴ音楽院等でピアノ講師にも就く。2006年、師・伊福部の『ピアノとオーケストラのためのリトミカ・オスティナータ』を初めて奏で、以降、東京交響楽団公演をはじめ6つの演奏会でソリストを務めるなど同作は山田の最も大切なレパートリーとなる。音楽の生命力、根源に迫る彼女の狂熱的なピアノは聴衆の心をとらえてやまない。伊福部作品を師の構想、概念を最重要視したピアノ演奏で世界に伝えることをテーマのひとつに据える。

現在、アメリカ、カラマズー交響楽団にて首席鍵盤奏者を担う一方、ソロ、室内楽演奏など精力的に活動する。



大橋 多美子 メソソプラノ

フェリス女学院短期大学音楽科声楽科卒業。1990年度愛知県芸術文化選奨文化賞、2010年度名古屋ペンクラブ賞受賞。1977年第1回ソロリサイタル開催、及びオペラ「魔笛」にてデビューし、回を重ね現在に至っている。宗教曲や第九交響曲等のソリストとしても活躍。1987年「アーベント・ムジーク」を立ち上げ、バロック作品を中心に古楽器とのコンサートを企画主催。また童謡・日本歌曲などをジャズトリオとコラボするなど独創的な試みも行っている。愛知芸術文化協会、日本演奏連盟会員。東海バロックプロジェクトメンバー。



ヤンネ館野 ヴァイオリン

ヘルシンキ生まれ。ヘルシンキ音楽院にてシルッカ・クーラ、オルガ・パルホメニコ、シカゴ芸術音楽院にて森悠子の各氏に師事。98〜07年オウルンサロ音楽祭(フィンランド)に出演。2005年〜ソリストとして日本での演奏活動を開始。07、08年オウルンサロ音楽祭(音楽監督・館野泉)の日本版をプロデュース。ソリストとして大阪チェンバーオーケストラ、東京エラート室内管弦楽団、山形交響楽団と共演。11年東京文化会館でのデビューリサイタル、15年ヘルシンキでのW.ケンプのヴァイオリンコンチェルト演奏はいずれも好評を博す。現在、ラ・テンペスタ室内管弦楽団(フィンランド)のコンサートマスター兼音楽監督を務める他、山形交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者、森悠子主宰長岡京室内アンサンブルのメンバーでの演奏など、フィンランドと日本、2つの祖国において幅広い活動を展開。



堀 夏紀 ピアノ

名古屋市菊里高等学校音楽科卒業後、渡米。シカゴ芸術大学音楽学部ピアノ科卒業。インディアナ大学音楽学部大学院修士課程修了。バリ・エコールノルマル音楽院ディプロマ取得。在米中に、山田令子氏のもと伊福部昭『ピアノとオーケストラのためのリトミカ・オスティナータ』(2台ピアノ版)第2ピアノを担当する。2014年には日本演奏連盟主催ソロ・リサイタルを電気文化会館ザ・コンサートホールにて開催。その他、宗次ホールランチタイム名曲コンサート等に出演。名古屋女子大学短期大学部非常勤講師。(公社)日本演奏連盟会員。



伊藤 玉木 解説

名古屋芸術大学音楽学部器楽科卒業。フリーのコントラバス奏者として東海地区を中心に活動。コンサートホールでの演奏会からスクールコンサート、ホームコンサートまで、幅広く活躍している。愛知県立明和高等学校音楽科非常勤講師。椋山女学園大学シンフォニーオーケストラ低弦トレーナー。北名古屋シティ管弦楽団 副音楽監督。アンサンブル「ニュートンズ」のメンバーとして、伊福部昭作品の演奏や紹介にも取り組んでいる。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集中!!

宗次ホールは
会員登録していただいた方に毎月無料で
新作チラシをご自宅にお届けします。

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

■交通アクセス
地下鉄栄駅⑫番出口より東へ徒歩4分

宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~18:00
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)